

付録E ポート番号一覧

本章では、ClientManager で利用している TCP/IP プロトコルのポート番号について説明します。

E.1 ポート番号一覧

■ ClientManager 本体

利用目的	通信方向	受信側ポート	プロトコル
CM クライアント-CM マネージャ間			
SNMP (Ver3.5 以前のクライアントが存在する場合、また、自動発見を使用する場合に利用)	マネージャ → クライアント	161	UDP
	クライアント → マネージャ	162	
プロセス監視 SG 設定、死活監視 (SG 設定、死活監視は Ver4.0 のクライアントに対してのみ)	マネージャ → クライアント	14375	TCP
	マネージャ → クライアント	14377	
ファイル転送(Wsft)、	マネージャ → クライアント	3000	TCP
	マネージャ → クライアント	4935	
	マネージャ → クライアント	5935	
	クライアント内部	13000	
構成情報の転送	クライアント → マネージャ	4935	TCP
電源 ON の電源制御 (リモートパワーオン)	マネージャ → クライアント	0	UDP (マジックパケット)
CM マネージャ(親) - CM マネージャ(子)			
クライアント管理情報の転送 SG 設定 電源 ON の電源制御の中継	子マネージャ → 親マネージャ	14373	TCP
	親マネージャ → 子マネージャ	14370	
	親マネージャ → 子マネージャ	14372	
CM GUI - CM マネージャ間			
CM マネージャ - CM GUI 間通信 統合ビューアからの CM GUI 起動	CM GUI → マネージャ	14370	TCP
	統合ビューア → CM GUI	14371	
ODBC でのデータベースアクセス	ODBC ドライバに依存	ODBC ドライバに依存	ODBC ドライバに依存

CM GUI - CM クライアント間				
ファイル転送(WSFT)	マネージャ	クライアント	3000	TCP
	マネージャ	クライアント	4935	
	マネージャ	クライアント	5935	
	クライアント内部		13000	
CM マネージャ - DB 間				
ODBC でのデータベースアクセス	ODBC ドライバに依存		ODBC ドライバに依存	ODBC ドライバに依存
CM マネージャ - 中継エージェント				
電源 ON の電源制御の中継	マネージャ	中継エージェント	14372	TCP
構成情報中継転送	中継エージェント	マネージャ	4935	TCP
中継エージェント - CM クライアント				
構成情報の転送	クライアント	マネージャ	4935	TCP
電源 ON の電源制御 (リモートパワーオン)	中継エージェント	クライアント	0	UDP(マジックパケット)

■ アラートの通報

利用目的	通信方向	受信側ポート	プロトコル	
マネージャ通報(TCP In-Band) クライアントからの TCP/IP プロトコルを利用してのアラートの通報。Ver3.5 以前のデフォルトでは SNMP で通報。	クライアント	マネージャ	31134	TCP

■ WinShare (リモート操作)

WinShare コンポーネントのセットアップを行なっている場合のみ。

利用目的	通信方向	受信側ポート	プロトコル	
クライアントの画面を共有してマウス/キーボードの操作。				
CM クライアントと CM GUI 間の通信	マネージャ	クライアント	5025	TCP
			5027	
			5028	
内部通信(クライアント内部)	クライアント内部		5024	
			5026	

■ 統合ビューア

利用目的	通信方向	受信側ポート	プロトコル
DMI のイベントの受信 CM マネージャで Intel LANDesk CleitnManager など DMI I/F を持つソフト ウェアからの直接障害のメッセージを受信 する場合に使用します。	クライアント マネージャ	ポートは自動 割り当て	DCE RPC
マネージャ間中継 CM マネージャの統合ビューアから別のコ ンピュータの統合ビューアのマップを見た り、SNMP トラップの転送を行う場合に利 用します。	マネージャ マネージャ	8806	TCP

■ NETINST (クライアントの自動インストール)

NETINST コンポーネントのセットアップを行なっている場合のみ。

利用目的	通信方向	受信側ポート	プロトコル
Windows のファイル共有プロトコル Windows のログオンスクリプトとファイル 共有の機能を利用して自動的に CM クライ アントをインストールします	クライアント マネージャ	NBT の場合以 下のとおり 137 138 139	UDP UDP, TCP

■ CM データベースエンジン

CM データベースエンジンをインストールしている場合。

利用目的	通信方向	利用ポート	プロトコル
データベース	マネージャ CMデータ ベースエ ンジン	1433	TCP

E.2 利用されているポート番号の確認

Windows で TCP/IP プロトコルをインストールすると、TCP/IP の統計情報を表示する NETSTAT コマンドがインストールされます。このコマンドに `-a` オプションをつけて実行する事で、利用されているポート番号の一覧を見ることができます。

```
C:\¥> netstat -a
Active Connections

Proto Local Address          Foreign Address        State
TCP   quail:135             0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:135             0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1027            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1029            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1032            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1036            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1037            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1043            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:1050            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:5024            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:6780            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:6787            0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:38293           0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:137             0.0.0.0:0              LISTENING
TCP   quail:138             0.0.0.0:0              LISTENING
```

ESMPRO/Netvisor をインストールするとリモートから、利用ポート番号を確認する事ができなす。統合ビューアでアイコンを選択して、右クリックしポップアップメニューを開きます。[SNMP 情報] [TCP 情報] および[SNMP 情報] [UDP 情報]を実行します。

付録 E	ポート番号一覧	E-1
E.1	ポート番号一覧.....	E-1
E.2	利用されているポート番号の確認.....	E-4